



2023年11月 現在

## Fujitsu Software

### Symfoware Server Advanced Backup Controller V12a (V12.7.0)

本商品は、Symfoware Server V12aのオプション製品です。

本商品を利用することで、データベースを高速にバックアップ/リカバリーすることができます。テラバイトオーダーの大容量データを分単位でバックアップできます。

V12よりSymfoware Serverは、従来のデータベースに加えて、OSSであるPostgreSQLをベースに機能強化したデータベースを搭載しておりましたが、V12.6.0よりSymfoware Server (Native)のみの搭載となります。

Symfoware Server (Postgres) :

- ・OSSであるPostgreSQLをベースに機能強化したデータベースです。

Symfoware Server (Native) :

- ・富士通独自技術を採用したデータベースです。

本商品は、Symfoware Server (Native)のみに対応します。

- サーバ(Symfoware Server (Native))

SPARC Servers / SPARC Enterprise Mシリーズ / SPARC Enterprise Tシリーズ / FUJITSU Cloud Service for SPARC

- サーバ(Symfoware Server (Native))  
Solaris 11(64bit)

### 1. バックアップ機能

・ ETERNUSディスクアレイのアドバンスド・コピー機能(EC/OPC)を使用した高速なディスク間のコピーを、データベースのバックアップデータとして扱うことができます。また、複数のETERNUSディスクアレイ筐体間でPRIMECLUSTER GDS機能によりミラーリングしたコピーも、データベースのバックアップデータとして扱うことができます。

ETERNUSディスクアレイを使用しない場合でもPRIMECLUSTER GDS機能によりディスクをミラーリングした上で、そのディスクを切り離すと、切り離れたディスクをデータベースのバックアップデータとして扱うことができます。

また、ディスクの切断操作やコピー開始指示もSymfowareのデータ管理と連携してデータベースの整合性を保証するため、データ更新を伴うサービスの実行中にバックアップ操作をすることができます。

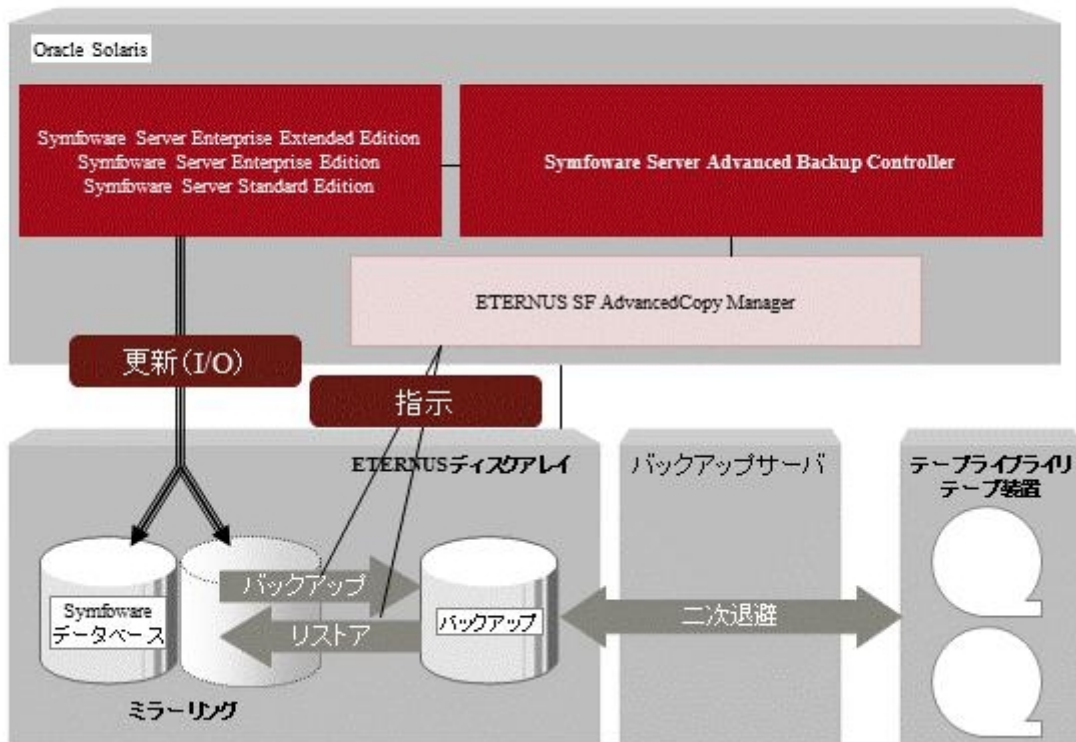
### 2. リカバリー機能

・ データベース破壊時にバックアップ機能で作成したバックアップデータを使用してデータベースを復旧することができます。バックアップ時点への復元、および最新状態や任意の時点への復元等、運用要件に沿って柔軟なリカバリー運用が実現可能です。ETERNUSディスクアレイを使用している場合には、ETERNUSディスクアレイのOPC機能を利用し高速にバックアップ時へ復元することができます。

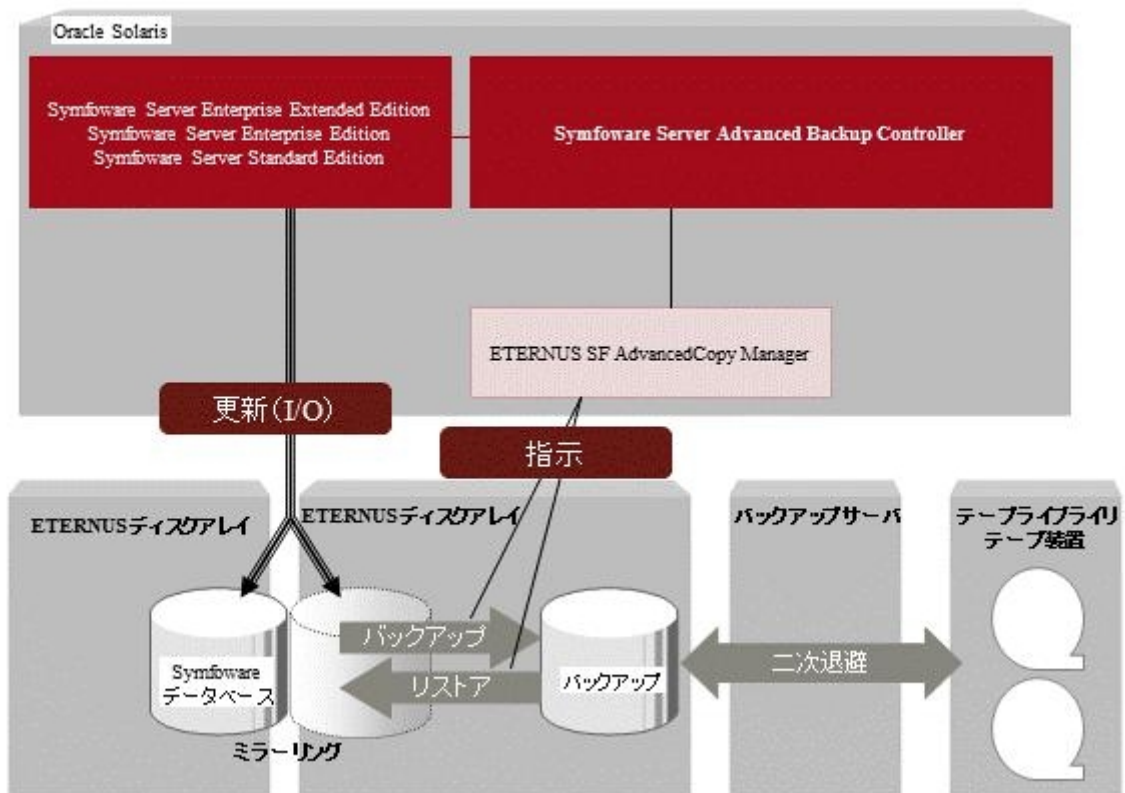
### 3. 媒体管理機能

・ ETERNUS SF AdvancedCopy Managerとの連携により、ミラーリングしたディスクの切り離しにより作成した一次退避媒体や、復旧に必要なログをデータベースと関連づけて自動管理します。リカバリー時に必要な退避媒体の選択がワンタッチでできます。また、バックアップサーバを導入した場合、テープライブラリ・テープ装置に吸い上げた二次退避までデータベースと関連づけて自動管理します。

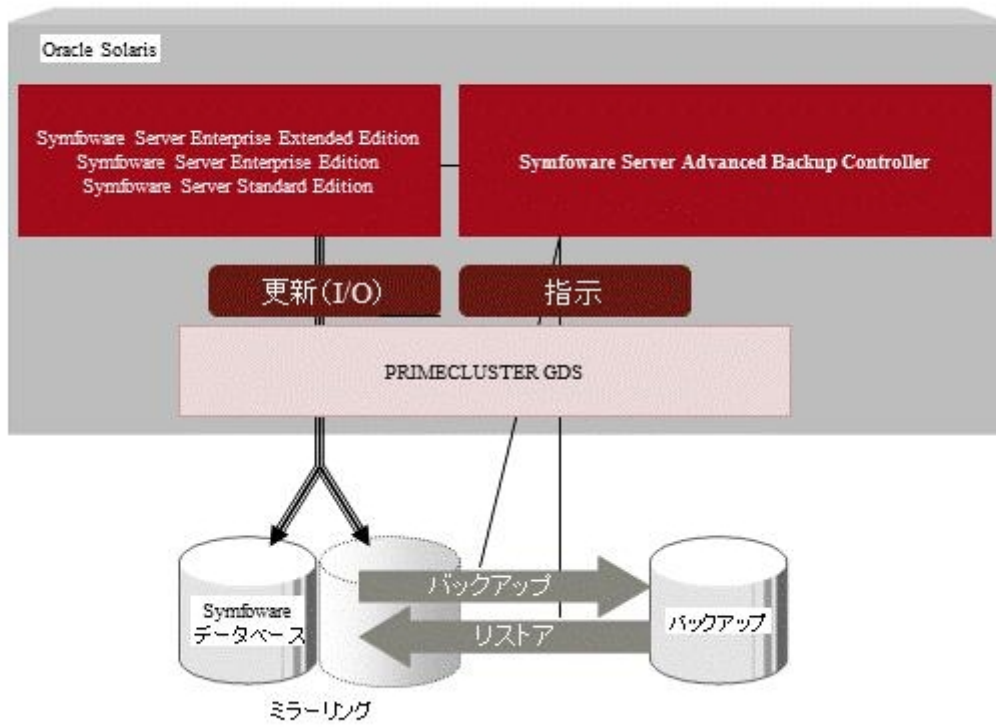
ETERNUSディスクアレイのアドバンスド・コピー機能を利用して  
ミラーリングしたデータベースをバックアップする場合



ETERNUSディスクアレイ筐体間でミラーリングしたデータベースをバックアップする場合



PRIMECLUSTER GDS機能を利用して  
ミラーリングしたデータベースをバックアップする場合



V12.6.0からV12.7.0の機能強化項目は以下のとおりです。

### 1. Symfoware Server V12.7.0対応

以下のSymfoware Server(Native)に対応します。

- Symfoware Server Enterprise Extended Edition V12a (V12.7.0)
- Symfoware Server Enterprise Edition V12a (V12.7.0)
- Symfoware Server Standard Edition V12a (V12.7.0)

- ・ オンラインマニュアル

- ・ Symfoware Server (Native)のインストールガイドを参照してください。



### 【メディア】

- ・ Symfoware Server Enterprise Extended Edition メディアパック V12a (V12.7.0)
- ・ Symfoware Server Enterprise Edition メディアパック V12a (V12.7.0)
- ・ Symfoware Server Standard Edition メディアパック V2a (V12.7.0)

### 【ライセンス】

- ・ Symfoware Server Advanced Backup Controller プロセッサライセンス (1年間24時間サポート付)  
V12a

本商品のライセンス製品には、初年度の「SupportDesk Standard」がバンドルされています。

## 1. Symfoware Server V12.7.0のメディアパックについて

・本商品のパッケージは、Symfoware Serverのメディアパックに含まれています。ただし、メディアパックには使用権は添付されておりませんので、別途、必要数分のライセンスを購入する必要があります。

### 各メディアパックの構成

メディアパック名	構成製品名							
	本体			オプション			同梱	
	EEE	EE	SE	ABC	MC	ADBG	LINK	REP
Symfoware Server Enterprise Extended Edition メディアパック	●	—	—	●	●	●	●	●
Symfoware Server Enterprise Edition メディアパック	—	●	—	●	●	—	●	●
Symfoware Server Standard Edition メディアパック	—	—	●	●	—	—	—	—

●：提供、—：提供なし

EEE：Symfoware Server Enterprise Extended Edition

EE：Symfoware Server Enterprise Edition

SE：Symfoware Server Standard Edition

ABC：Symfoware Server Advanced Backup Controller

MC：Symfoware Server Mirroring Controller

ADBG：Symfoware Active DB Guard

LINK：Linkexpress

REP：Linkexpress Replication option

## 2. プロセッサライセンスについて

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて必要となるライセンスです。

- ・シングルコアプロセッサの場合は、1プロセッサあたり1本の購入が必要です。
- ・マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。
  - SPARC M12/M10では、CPUコアアクティベーションキーにより有効化されたコアの総数に特定の係数を乗じます。
  - SPARC Enterprise/PRIMEPOWERのCODモデルでは、CPU RTUライセンスを持つ稼働CPU上のコアの総数に特定の係数を乗じます。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）」内、「富士通製ソフトウェアのライセンス体系」を参照ください。

・Symfoware Server(Native)に割り当てるCPU数分のSymfoware Server Advanced Backup Controllerプロセッサライセンスを購入してください。

Symfoware Server(Native)がクライアントライセンスでも組み合わせ可能です。

・クラスタシステムで運用する場合は、運用ノードに搭載するプロセッサ数1つ分の購入に対して、待機ノードに搭載するプロセッサ数1つ分は購入不要です。待機ノード数が運用ノード数より多くなる構成の場合は、運用ノードに搭載するプロセッサ数のライセンスの他に、待機ノードに搭載するプロセッサ数から運用ノードに搭載するプロセッサ数を差し引いた分のライセンスを購入してください。クラスタシステム内の各ノードは、すべて同一のライセンス形態の製品を購入してください。

---

### 3. ダウングレード使用（旧バージョン または 旧レベル商品の使用）について

本商品のライセンスでは、ダウングレード使用（本商品の旧バージョン または 旧レベルを使用）する権利はありません。

対象のバージョン または レベルを使用する場合は、対象のバージョン または レベルに対応したライセンスをご購入ください。

---

### 4. バージョンアップ時の購入方法

[V7.0以降の旧商品からのバージョンアップ/レベルアップについて]

V7.0以降の本商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、新バージョンを提供いたします。（お客様からのご要求が必要です。）

「SupportDesk」を導入されていない場合は、新バージョン商品を改めてご購入頂く必要があります（価格の優遇はございません）のでご注意ください。なお、「SupportDesk」の詳細については、関連URLを参照してください。

[V6.0以前からのバージョンアップについて]

V6.0以前の本商品をお持ちの場合は、弊社営業/SEにお問い合わせください。

### 1. 必須ソフトウェア

- Symfoware Server Enterprise Extended Edition V12a (V12.7.0)
- Symfoware Server Enterprise Edition V12a (V12.7.0)
- Symfoware Server Standard Edition V12a (V12.7.0)

Symfoware Server Advanced Backup ControllerとSymfoware Server(Native)は、同一のバージョン・レベルでなければなりません

### 2. ETERNUSディスクアレイのアドバンスド・コピー機能を利用してミラーリングしたデータベースをバックアップする場合

以下のいずれかが必要です。

- ETERNUS SF AdvancedCopy Manager 13.0以降 (注1)
- Softek AdvancedCopy Manager EE 11.x以降
- Softek AdvancedCopy Manager 11.x以降

さらに、信頼性を高める方法として、

ETERNUSディスクアレイ筐体間でミラーリングしたデータベースをバックアップする場合は、以下のソフトウェアも必要です。

- PRIMECLUSTER GDS 4.3A40以降

(注1) ETERNUS SF AdvancedCopy Manager 16.3 より、64bitに対応しました。

### 3. PRIMECLUSTER GDSを利用してミラーリングしたデータベースをバックアップする場合

以下のいずれかが必要です。

- PRIMECLUSTER Enterprise Edition 4.3A40以降
- PRIMECLUSTER HA Server 4.3A40以降
- PRIMECLUSTER GDS 4.3A40以降

### 1. 関連ハードウェア

EC/OPC機能を装備したETERNUSディスクアレイ

### 1. Symfoware Server(Native)との組み合わせについて

- ・本商品は、同一バージョン・レベルのSymfoware Server(Native)が必要です。

### 2. 本製品利用時の留意事項

- ・使用方法については、Symfoware Server(Native)のメディアパックに添付されるオンラインマニュアル「Symfoware Server RDB運用ガイド」を参照してください。
- ・ETERNUSディスクアレイを使用する場合の詳細については、ETERNUS SF AdvancedCopy Managerに添付される「ETERNUS SF AdvancedCopy Manager運用手引書」も合わせて参照してください。
- ・本製品をOracle Solaris11上で使用する場合は、global zoneのみ動作可能です。 non-global zoneには対応していません。

### 3. Oracle Solaris 11.4利用時の留意事項

Oracle Solaris 11.4を利用する場合、以下の留意事項があります。

- ・Nativeインターフェースのみ対応します。
- ・OSパッチ SRU3(SRU18111)以降を適用してください。
- ・non-global zoneへのインストールにはpackage/svr4パッケージインストールが必要(solaris-large-serverインストール済時を除く)です。

### 4. 仮想化環境で利用する場合の留意事項

Oracle VM Server for SPARCまたはOracle Solaris 10/11 ゾーンを利用する場合、以下の留意事項があります。

以下の機能は、利用できません。

- ・DR機能
- ・FT機能
- ・HA機能（データベース二重化機能を利用する場合）
- ・レプリケーション

以下の機能は、データベースが停止している場合に利用可能です。

- ・ライブマイグレーション機能
- ・クローニング機能

### お客様向けURL

- ・ **ソフトウェア：富士通（Symfoware）**

本商品の詳細情報を掲載しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/middleware/database/symfoware/>

- ・ **ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）**

「ライセンスについて、くわしく知る」の項で富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>